

先進的抗リウマチ薬、費用対効果高いのは？ DAS28-CRPの改善を指標に比較検証

2022年05月13日 13:44

近年、相次いで臨床現場に登場している生物学的製剤（bDMARD）や、ヤヌスキナーゼ（JAK）阻害薬に代表される分子標的型の疾患修飾性抗リウマチ薬（tsDMARD）は、関節リウマチ（RA）の薬物療法において優れた有効性を発揮する。しかし、これらは高薬価になる傾向があり、投与に際しては患者の経済的負担も考慮する必要がある。そこで松野リウマチ整形外科（富山県）院長の松野博明氏は、RAの疾患活動性指標であるDAS28-CRPを用いて各種bDMARDおよびtsDMARDの費用対効果を第66回日本リウマチ学会（4月25～27日）で比較。費用対効果に優れる薬剤を検証した。



松野 博明氏

ガイドラインの推奨や薬価の算定では有効性との兼ね合いを加味

英国国立医療技術評価機構（NICE）がリウマチ治療に関して策定したガイドラインでは、中等度RAに対する薬物療法に関する評価において、bDMARDのアダリムマブやエタネルセプト、インフリキシマブ、アバタセプトの有効性を認め推奨している。しかし、費用対効果の観点からは上記のうちアバタセプトを推奨していない。

日本では、厚生労働省が薬価を決定する際、類似薬があるものの新規の作用機序を有し、既存薬を上回る有効性や安全性を示す薬剤については、画期性や有用性などを加味し補正加算を行い薬価が決められている。なお日本の場合、バイオシミラーの初収載薬価は、先行品の7割程度に算定される。

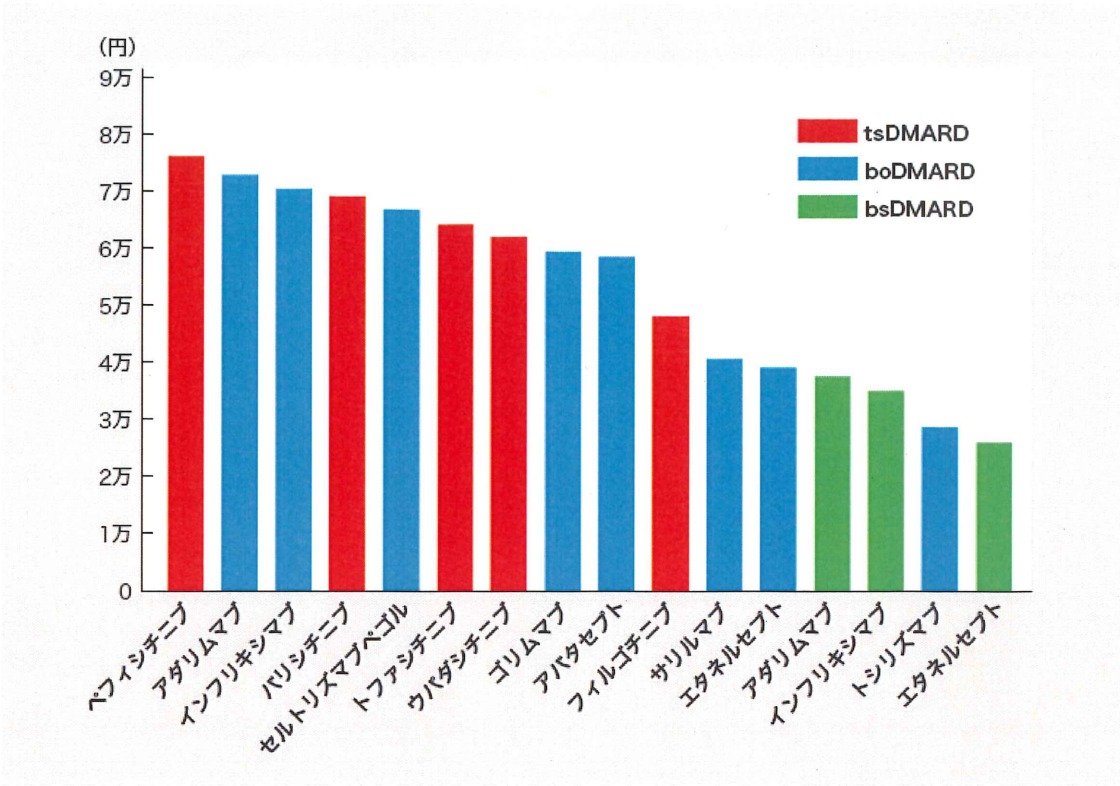
このように、国内外において抗リウマチ薬にかかるコストはさまざまな角度から検証、評価されている。

先行品の生物学的製剤ではIL-6阻害薬の費用対効果が優れる

そこで松野氏は、抗リウマチ薬を先行品の生物学的製剤（boDMARD）、バイオシミラー（bsDMARD）、tsDMARDに分類し、各薬剤の承認申請時に根拠として提出されたランダム化比較試験（RCT）に関する論文を検討。薬物治療前後におけるDAS28-CRPスコアの変化量を算出し、各薬剤の標準体重の患者が標準使用量で治療された場合の国内薬価に基づきDAS28-CRPスコアを1低下（改善）させるために要するコストを比較した。公表されている各薬剤の臨床試験の観察期間は異なっていたが、全薬剤の観察期間を4週に合わせて治療効果を検討した。

その結果、DAS28-CRPスコアを1低下させるために要するコストはJAK阻害薬のペフィシチニブ（tsDMARD）が最も高く、エタネルセプトのbsDMARDが最も低かった。bsDMARDはboDMARDやtsDMARDに比べ費用対効果に優れていたが、boDMARDとtsDMARDの費用対効果については大きな差は見られなかった。また、boDMARDの中ではIL-6阻害薬のトシリズマブが最も費用対効果に優れていた（図）。

図. DAS28-CRPスコアを1低下させるのに要する費用



(松野博明氏提供)

今回の検討結果に関し、松野氏は「各臨床試験の患者背景や症例数、観察期間が異なるため単純比較はできない」としながらも、「boDMARDとtsDMARDの比較において明らかな費用対効果の差は見られず、bDMARDにおいては、boDMARDよりbsDMARDの費用対効果が高かった」と結論。「高薬価の抗リウマチ薬を用いる際は、RA患者の状態と経済状況の双方を十分勘案する必要がある」と指摘した。

(陶山慎晃)

関連タグ

- #整形外科
- #リウマチ・膠原病科
- #IL-6阻害薬
- #JAK阻害薬
- #TNFα阻害薬
- #T細胞刺激調節薬
- #アダリムマブ
- #アバタセプト
- #インフリキシマブ
- #ウバダシチニブ
- #エタネルセプト
- #コメディカル
- #ゴリムマブ
- #サリルマブ
- #セルトリズマブベゴル
- #トシリズマブ
- #バリシチニブ
- #フィルゴチニブ
- #ペフィシチニブ
- #リウマチ
- #免疫疾患治療薬（リウマチ、炎症性腸疾患、乾癬など）
- #医療経済
- #厚生労働省・医薬品医療機器総合機構
- #抗リウマチ薬
- #日本リウマチ学会
- #英国立臨床評価研究所
- #薬剤師
- #関節リウマチ

Z2qJ5bYAE

>